


● インターネットからダウンロードしたファイルのセキュリティリスクのメッセージバーについて

Microsoft 社は、近年サイバー攻撃が急速に増えてきたことに対応してマクロを利用した攻撃に対する対策を強化しました。このため Office の最新のアップデートにより、メッセージバーからはマクロを実行することができなくなりました。

インターネットからダウンロードしたマクロ付きの Excel ファイルを開くと、マクロは実行されずにブロックされて以下のメッセージバーが表示されます。

 **セキュリティ リスク** このファイルのソースが信頼できないため、Microsoft によりマクロの実行がブロックされました。

詳細を表示

● マクロの実行がブロックされる Office のファイル

このセキュリティリスクのメッセージバーにより VBA がブロックされるのは以下のファイルになります。

- ・メールに添付されたマクロ付き Excel ファイル
- ・Web サイトからダウンロードしたマクロ付き Excel ファイル
- ・OneDrive や SharePoint からダウンロードしたマクロ付き Excel ファイル

この強化された仕組みでマクロをブロックされるのは Windows 版の Microsoft Office (Excel、Word、PowerPoint、Access、Visio) のファイルになります。

● マイクロソフト社の公式サイトで対応方法を確認する

Excel のアップデートによりセキュリティリスクのメッセージバーが発生して VBA がブロックされる場合の対応方法がマイクロソフト社から公開されています。

マイクロソフト社の公式サイトから

[Office でインターネットから入手したマクロが既定でブロックされる - Deploy Office | Microsoft Docs](#)

または

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/deployoffice/security/internet-macros-blocked>

にアクセスして対応方法が確認できます。

Windows11 はエクスプローラーで解凍後の Excel ファイルを表示します。

システムの kyuyo05.xlsx ファイルを右クリックしてメニューのプロパティをクリックします。

プロパティの一番下の「セキュリティ」の「許可する」にチェックを付けるシステムが正常に開けるようになります。

「インターネットからのマクロは、office では規定でブロックされます」のマイクロソフト社のサイトです。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/deployoffice/security/internet-macros-blocked>

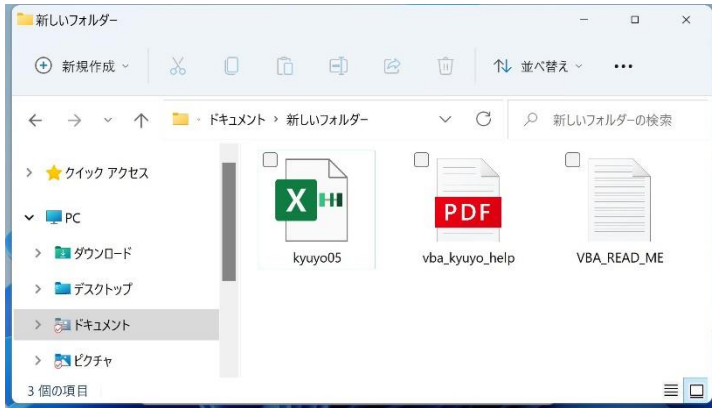
Windows10 の場合は、プロパティに「セキュリティ」の「許可する」のチェックが出ないことがあります。このため「信頼する場所」にシステムの kyuyo05.xlsx ファイルを配置してからファイルを開いてください。

「信頼できる場所」についてのマイクロソフト社のサイトです。

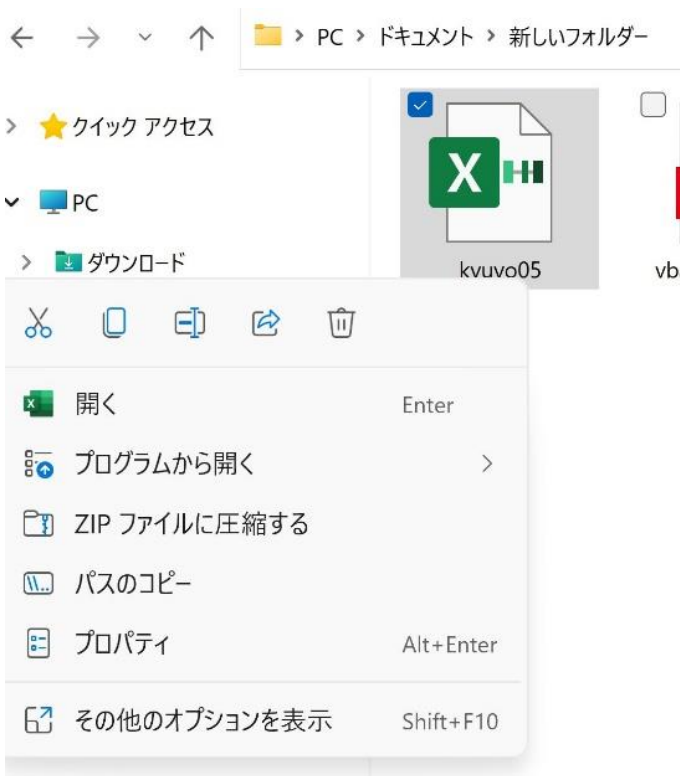
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/deployoffice/security/trusted-locations>

★ Windows11 と令和 05 年分の kyuyo05.xlsx ファイルの手順になります。

エクスプローラーで解凍後の kyuyo05.xlsx ファイルを表示します。



システムの kyuyo05.xlsx ファイルを右クリックしてからメニューのプロパティをクリックします。
kyuyo05 のプロパティの一番下の「セキュリティ」の「許可する」にチェックを付けると、システムが正常に起動するようになります。



● Mark Of The Web (MOTW) を解除して Excel のマクロを実行する

セキュリティリスクのメッセージバーでマクロがブロックされるのは、Excel ファイルに「Mark Of The Web」(MOTW) という属性が付いているためです。これはインターネットなどから Windows が信頼されていない場所から入手した Excel ファイルに付けるものです。

セキュリティリスクのメッセージバーでブロックされた Excel ファイルのマクロを実行するこの「MOTW」の属性を解除する必要があります。

● Excel ファイルの「MOTW」の属性を解除する方法 (Windows11 と Excel2021 を使用している場合)

セキュリティリスクのメッセージバーでマクロの実行がブロックされた Excel ファイルで、「MOTW」の属性を解除する方法 (マクロを実行する方法) は以下の通りになります。

- 1・マクロ付き Excel ファイルを右クリックします。(またはマクロ付き Excel ファイルを選択します。)
- 2・メニューから「プロパティ」を選択します。
- 3・「プロパティ」の「全般」タブの「セキュリティ」から「許可する」をチェックして「OK」をクリックします。



《ご注意》

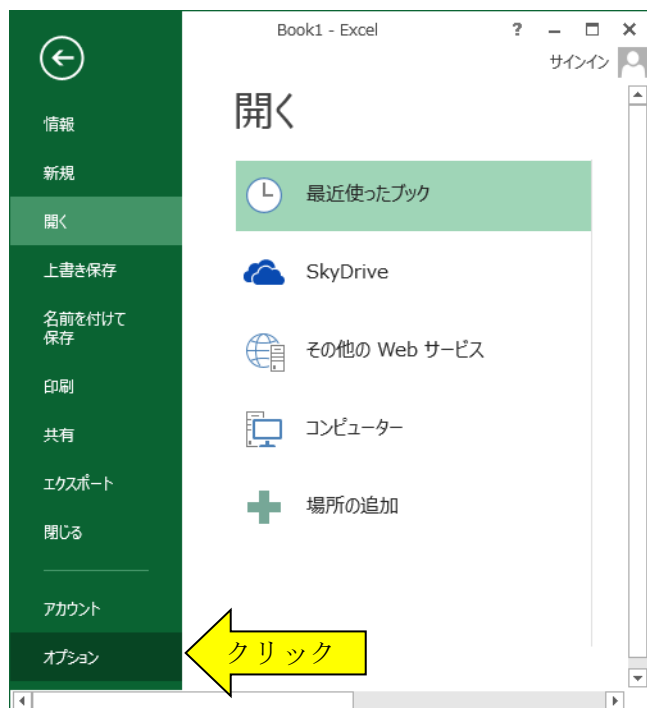
「MOTW」の属性を解除した Excel ファイルは、開くことで自動的にマクロが実行されますので注意してください。

● 「信頼できる場所」で Excel のマクロを実行する

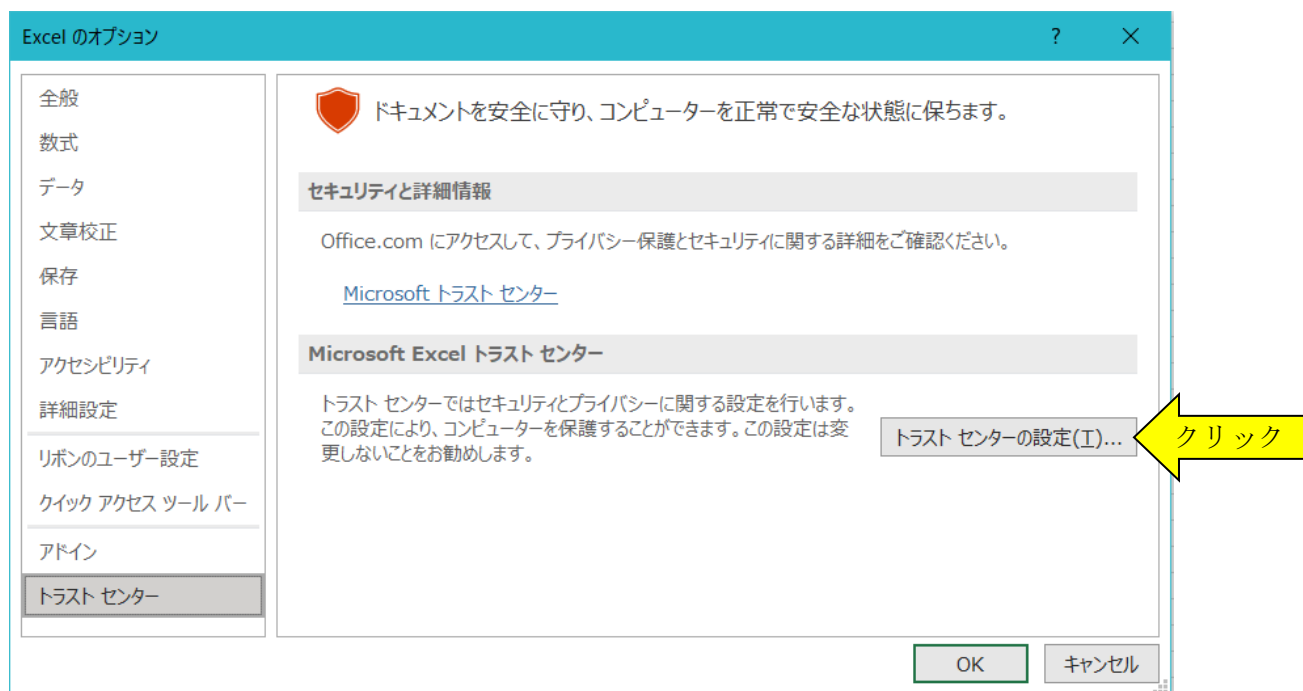
セキュリティリスクのメッセージバーでマクロがブロックされる Excel ファイルを、エクセルのオプションから「信頼できる場所」に設定した場所に移動することでマクロを実行することができます。または、セキュリティリスクのメッセージバーでマクロがブロックされる Excel ファイルのあるフォルダを「信頼できる場所」に新規に追加することでマクロを実行することができます。

● 「信頼できる場所」への Excel ファイルのあるフォルダの追加方法

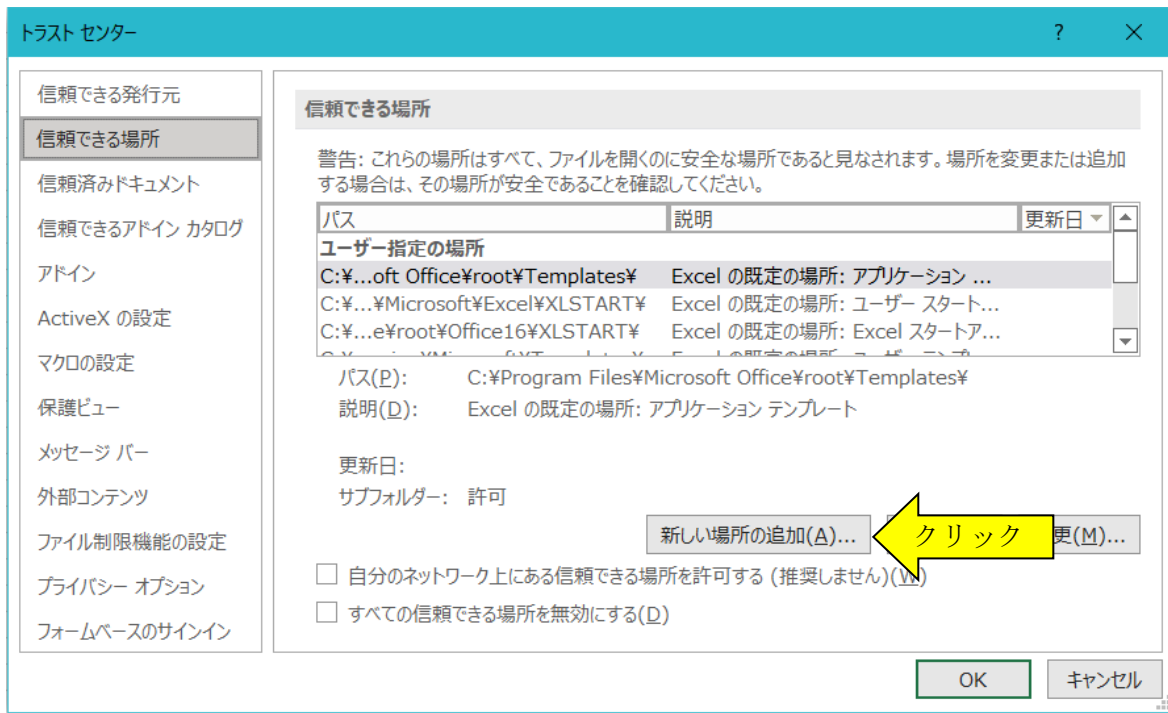
1・「ファイル」から「オプション」をクリックします。



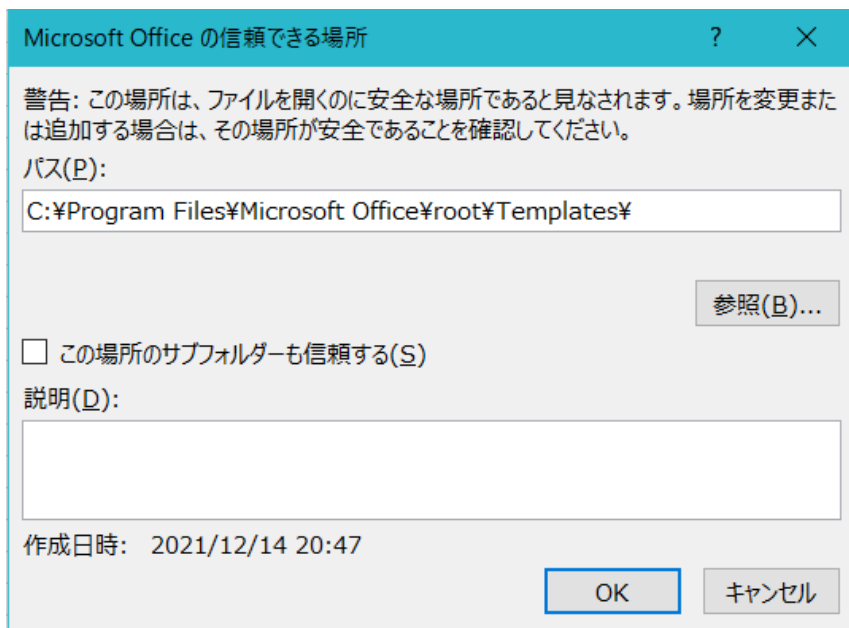
2・「トラストセンター」を選択し、右側から「トラストセンターの設定」をクリックします。



3・「トラストセンター」から「信頼できる場所」を選択します。



4・「新しい場所の追加」を選択し、「参照」ボタンから実行する Excel ファイルがあるフォルダを追加します。



《ご注意》

「信頼できる場所」に追加したフォルダに移動した Excel ファイルは、開くことで自動的にマクロが実行されますので注意してください。

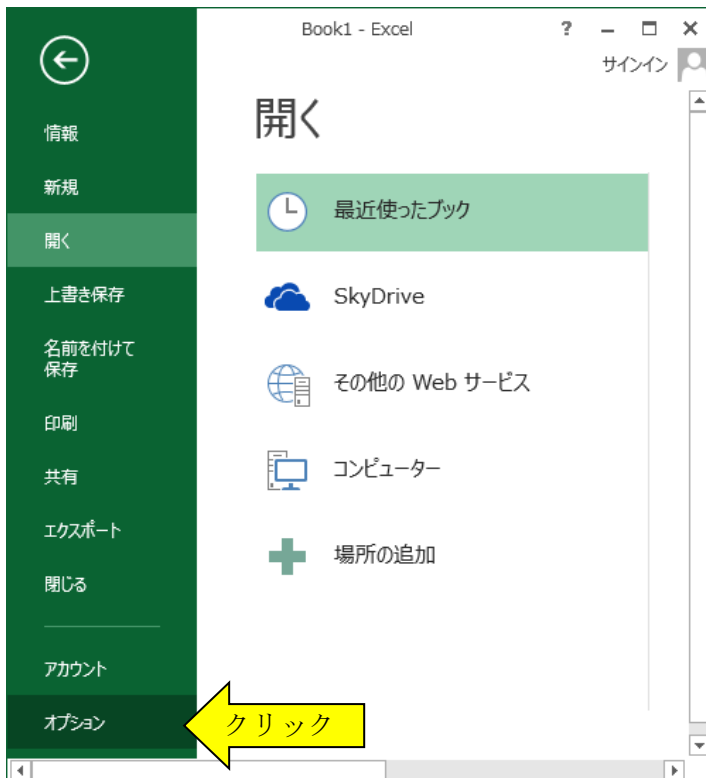
● Excel 2021 と Excel2019 でのマクロの設定方法

Excel2021 と Excel2019 でマクロを組み込んだ Excel ファイルを開くときには、「『セキュリティの警告』マクロが無効にされました。」のメッセージバーから「コンテンツの共有化」ボタンをクリックします。

「コンテンツの共有化」ボタンでマクロを有効にしてからファイルを保存すると、次に同じファイルを開いたときには自動的にマクロが有効になります。

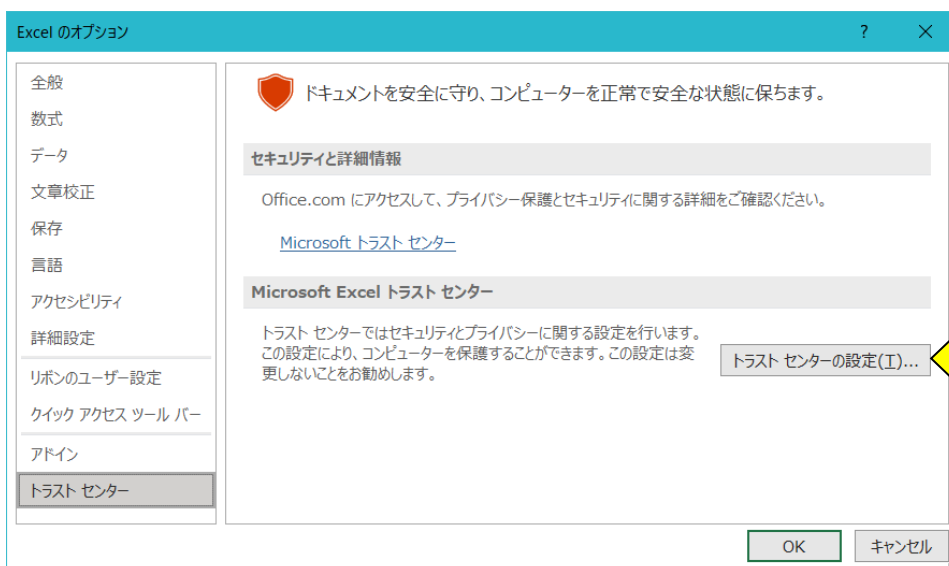
「セキュリティの警告」のメッセージバーがでない場合には以下の手順で設定してください。

● 「セキュリティの警告」の設定について



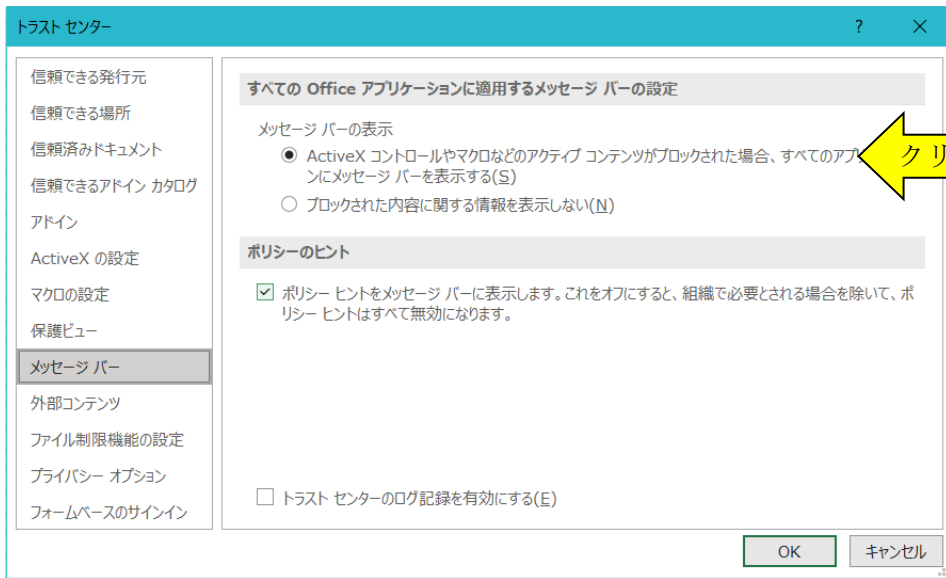
手順 1

Excel2021 または Excel2019 の「ファイル」から「オプション」をクリックします。



手順 2

「Excel のオプション」の「トラストセンター」から「トラストセンターの設定」ボタンをクリックします。



手順3

Trust Centerの「メッセージバー」を選択します。

「ActiveXコントロールやマクロなどのアクティブコンテンツがブロックされた場合、すべてのアプリケーションにメッセージバーを表示する」にチェックを付けます。



手順4

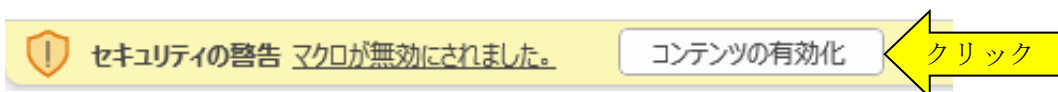
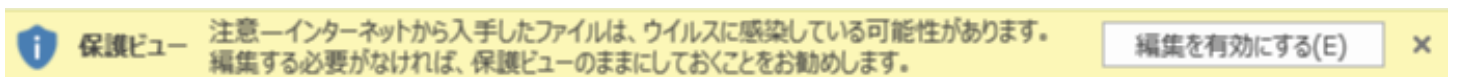
Trust Centerの「マクロの設定」を選択します。

「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」にチェックを付けて「OK」ボタンをクリックします。

手順5

ファイルを開くときに「保護ビュー」のメッセージバーから「編集を有効にする」ボタンをクリックします。

「『セキュリティの警告』マクロが無効にされました」のメッセージバーから「コンテンツの有効化」ボタンをクリックするとマクロを有効にすることができます。



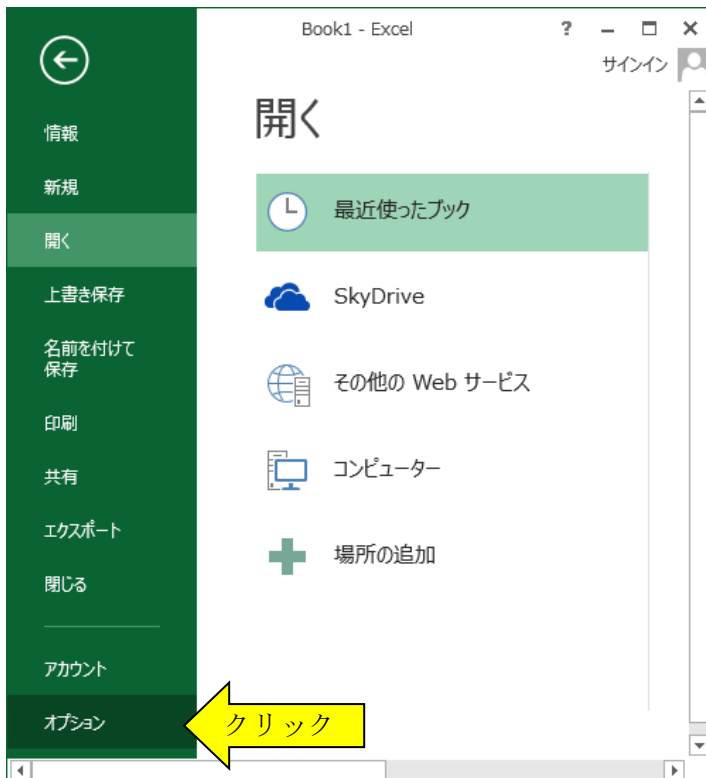
● Excel 2016 と Excel2013 でのマクロの設定方法

Excel2016 と Excel2013 でマクロを組み込んだ Excel ファイルを開くときには、「『セキュリティの警告』マクロが無効にされました。」のメッセージバーから「コンテンツの共有化」ボタンをクリックします。

「コンテンツの共有化」ボタンでマクロを有効にしてからファイルを保存すると、次に同じファイルを開いたときには自動的にマクロが有効になります。

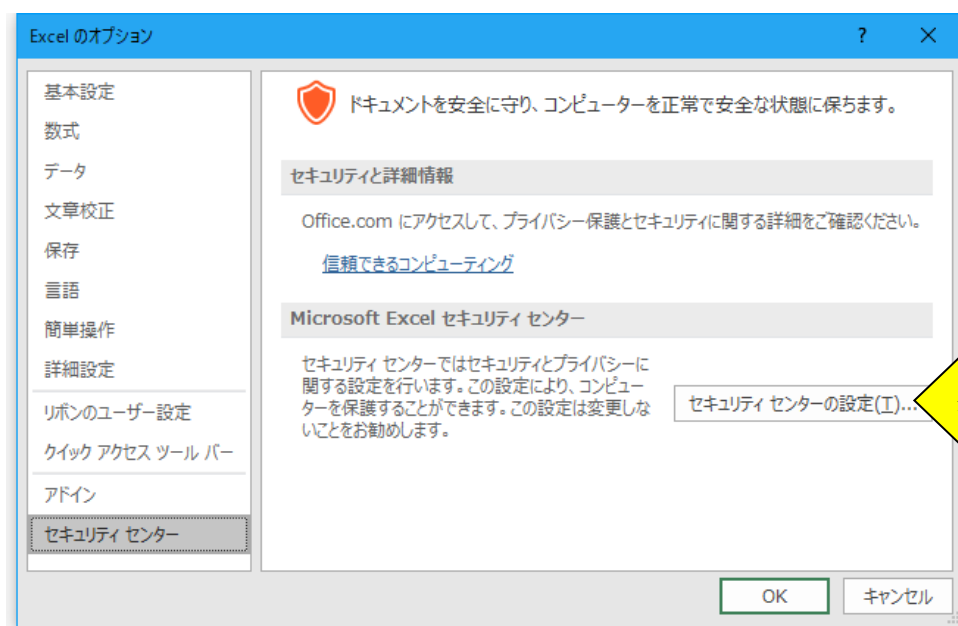
「セキュリティの警告」のメッセージバーがでない場合には以下の手順で設定してください。

● 「セキュリティの警告」の設定について



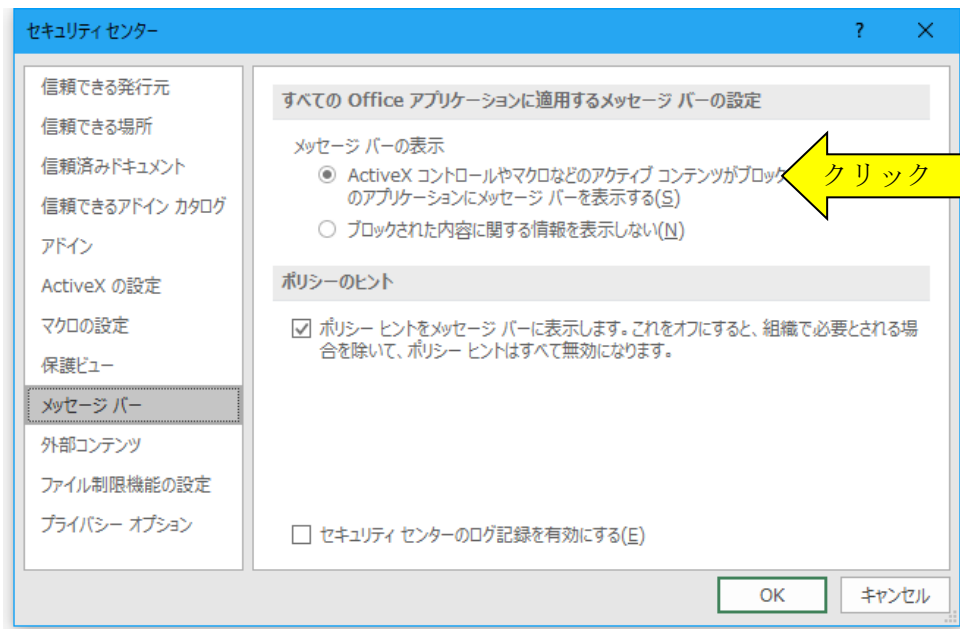
手順 1

Excel2016 または Excel 2013 の「ファイル」から「オプション」をクリックします。



手順 2

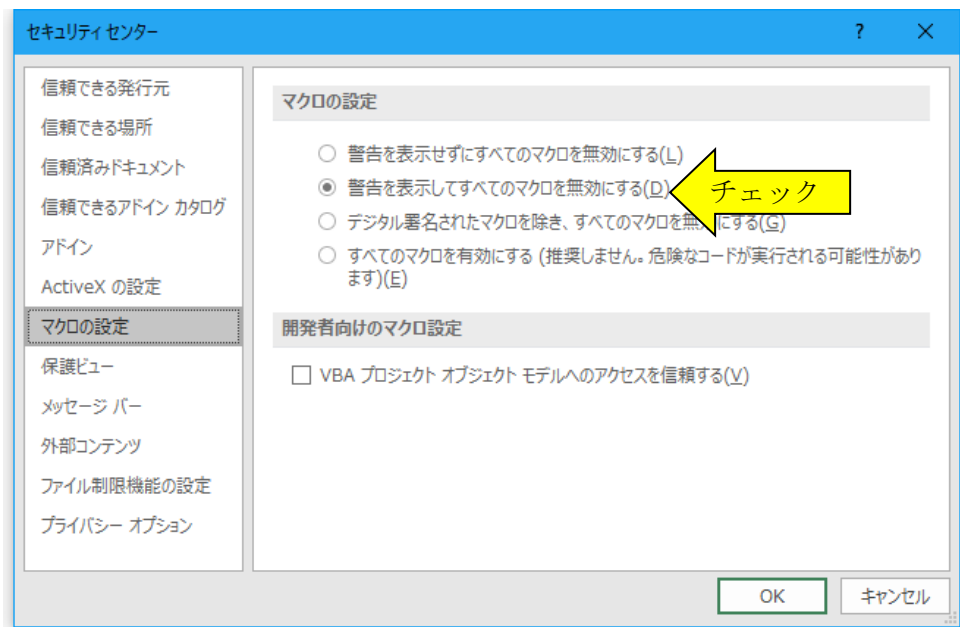
「Excel のオプション」の「セキュリティセンター」から「セキュリティセンターの設定」ボタンをクリックします。



手順3

セキュリティセンターの「メッセージバー」を選択します。

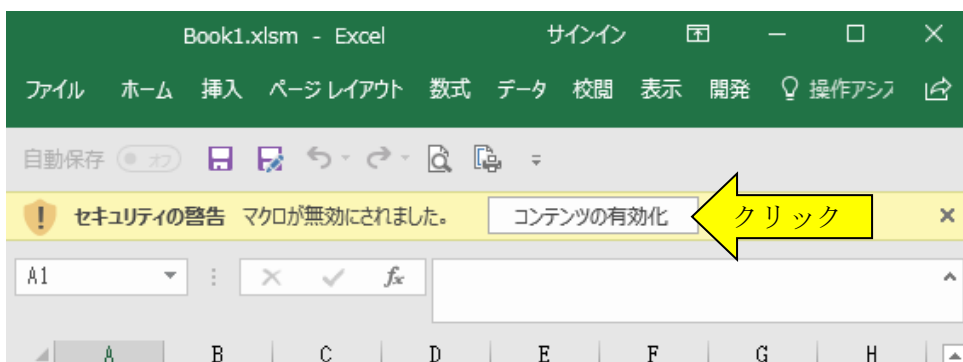
「ActiveX コントロールやマクロなどのアクティブコンテンツがブロックされた場合、すべてのアプリケーションにメッセージバーを表示する」にチェックを付けます。



手順4

セキュリティセンターの「マクロの設定」を選択します。

「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」にチェックを付けて「OK」ボタンをクリックします。



手順5

ファイルを開くときに「『セキュリティの警告』マクロが無効にされました」のメッセージバーから「コンテンツの有効化」ボタンをクリックするとマクロを有効にすることができます。

● エクセルのマクロを有効にする方法について

システムでは、データの入力はすべて入力用フォームから行いますので、Excel のマクロが有効になっている必要があります。

システムをご利用いただくユーザーのパソコン環境は、Windows 11 10 と Excel2021 2019 2016 2013 で様々な組み合わせが想定されます。このため Excel をベースとする弊社システムは、すべてのパソコンで安定的の動作を保証することはできません。

弊社システムは Excel 2021 2019 2016 2013 で動作確認していますが、これ以前の Excel では動作を保証できません。

※マイクロソフト社の Excel2003 のサポートは平成 26 年 4 月で終了しています。

※マイクロソフト社の Excel2007 のサポートは平成 29 年 10 月で終了しています。

※マイクロソフト社の Excel2010 のサポートは令和 02 年 10 月に終了しています。

システムの使用許諾書」への同意についてのお願い

このソフトをご利用いただくには「システムの使用許諾書」に同意をして頂くことが使用条件となっております。

一部抜粋

「システムの使用許諾書」

「本システムが使用できないことまたは本システムの使用および使用結果について、使用者および第三者の直接的および間接的ないかなる損害に対しても、本システムの制作者は一切の責任を負いません。」

「あらゆる損害に対する免責」を承諾いただくことが、弊社システムの使用条件となっておりますので、ご同意を頂けますようお願い申し上げます。